

《定例北海道函館方面公安委員会会議等概要》

令和6年5月16日（木）、次のとおり定例会議等を開催しました。

1 審議・報告内容

(1) 4月中の苦情受理・措置状況

4月中の苦情受理・措置状況について報告を受けた。

(2) 函館方面におけるヒグマ出没に対する安全対策

函館方面におけるヒグマ出没に対する安全対策について報告を受けた。

中田委員から「昨年、大千軒岳において発生したヒグマによる人身事故は、大変ショッキングなものであった。地域の方や地元山岳会等の団体と協働した啓蒙活動を推進するなど、注意喚起を継続していただきたい。」旨の発言があった。

齋藤委員長から「函館市では、ヒグマが住宅街に出没するなど、その生息域がだんだん身近に迫ってきたと感じている。警察には、ヒグマ出没に際して様々な対応が求められるところであり、是非とも頑張っていたいただきたい。」旨の発言があった。

(3) 函館方面管内の桜まつり開催状況

函館方面管内の桜まつり開催状況について報告を受けた。

(4) 刑事関係主要事件発生・検挙状況

刑事関係主要事件発生・検挙状況について報告を受けた。

堀田委員から「被害者は、一瞬の出来事で被疑者の人相を覚えるのも難しかったと思うが、そうした状況においても、被疑者を特定するに至った捜査力には感服した。凶悪事件が発生すると、付近住民は安心して生活できなくなってしまうものであり、スピーディーに解決していただいたことも大変素晴らしかった。」旨の発言があった。

(5) 小型情報板を活用した効果的な交通安全情報の発信

小型情報板を活用した効果的な交通安全情報の発信について報告を受けた。

中田委員から「大変すばらしい取り組みであると感じた。交通安全意識の更なる向上を図るため、今後は、掲載する標語を高校生や大学生といった一般から募集してみるなど、話題性を高めていくことも重要ではないかと思う。こうした点にも配意しつつ、是非とも継続していただきたい。」旨の発言があった。

堀田委員から「交通安全啓発というものは、継続的に推進しなければならないものとなるが、慣れによって効果が薄れてしまうことも危惧されるところである。そうならないためには、話題性が重要になると思うので、今後も、話題性に富んだ効果的な啓発を推進していただきたい。」旨の発言があった。

齋藤委員長から「権利関係を一切侵害することなく、話題の映画を連想させつつ交通安全を訴えかけるという非常に上手なやり方で啓発をしていただいたものと感心した。」旨の発言があった。

(6) 交通死亡事故の発生状況

交通死亡事故の発生状況について報告を受けた。

堀田委員から「死亡事故の中には、車両のみならず、歩行者や自転車の行動にも発生の要因が認められるケースも多いのではないかと感じる。非常に難しい問題ではあるが、車両の運転者のみならず、歩行者や自転車の意識を変えていくための効果的な教育や啓発も推進していただきたい。」旨の発言があった。

2 決裁・報告事項

(1) 函館方面留置施設視察委員会委員の任命について報告を受け、決裁を行った。

(2) 銃刀法に関わる診断を行う医師の指定及び告示について報告を受け、決裁を行った。

(3) ストーカー規制法に基づく禁止命令の実施結果について報告を受け、決裁を行った。

以 上